

コロナ禍の 国際情勢とエネルギー

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化するなか、世界経済は大きく落ち込み、エネルギー需要も減少しています。一方、気候変動が一因とみられる異常気象が頻繁に起こり、新潟県内でも、積雪が減少する、高温によるコメの品質悪化や、漁獲の種類が以前と変わるなどの影響を受けています。

世界中で懸念が広がるなか政府は、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロと宣言し、カーボンニュートラルを成長戦略と位置付けました。

その目的を達成するためには、どのようなエネルギー政策を日本は取っていくべきか、三浦さんと一緒に考えていきます。

日時 2022年 2月 11日 (金) 15:00~16:30

会場 刈羽村生涯学習センター「ラピカ」文化ホール

定員 150名様 (無料・予約制)

※お申込みは刈羽村商工会まで TEL: 0257-45-2386 FAX: 0257-45-2985

※感染症予防のため、ご来場の際に検温を実施致しますのでご了承下さい。
また、参加される方はマスク着用をお願い致します。



三浦 瑠麗氏

国際政治学者 シンクタンク、株式会社山猫総合研究所 代表

1980年10月神奈川県茅ヶ崎市生まれ。

内政が外交に及ぼす影響の研究など、国際政治理論と比較政治が専門。東京大学大学院法学政治学研究科総合法政専攻博士課程修了、博士(法学)。東京大学大学院公共政策大学院専門修士課程修了、東京大学農学部卒業。日本学術振興会特別研究員、東京大学政策ビジョン研究センター講師などを経て2019年より現職。

主な著書に、『21世紀の戦争と平和—徴兵制はなぜ再び必要とされているのか』(新潮社、2019年)、『「トランプ時代」の新世界秩序』(潮新書、2017年)、『孤独の意味も、女であることの味わいも』(新潮社、2019年)、『私の考え』(新潮新書、2020年)、近著に『日本の分断—私たちの民主主義の未来について』(文春新書、2021)など著書多数。